

県立高校「学びの改革」に係る第2回地域懇談会

県立高校「学びの改革 実施方針」 策定に向けて

長野県教育委員会

「県立高校『学びの改革 実施方針』策定に向けて」の内容

I 「高校改革 ～夢に挑戦する学び～ 実施方針（案）」たたき台

新たな学びの推進 (方針 1～方針 3)

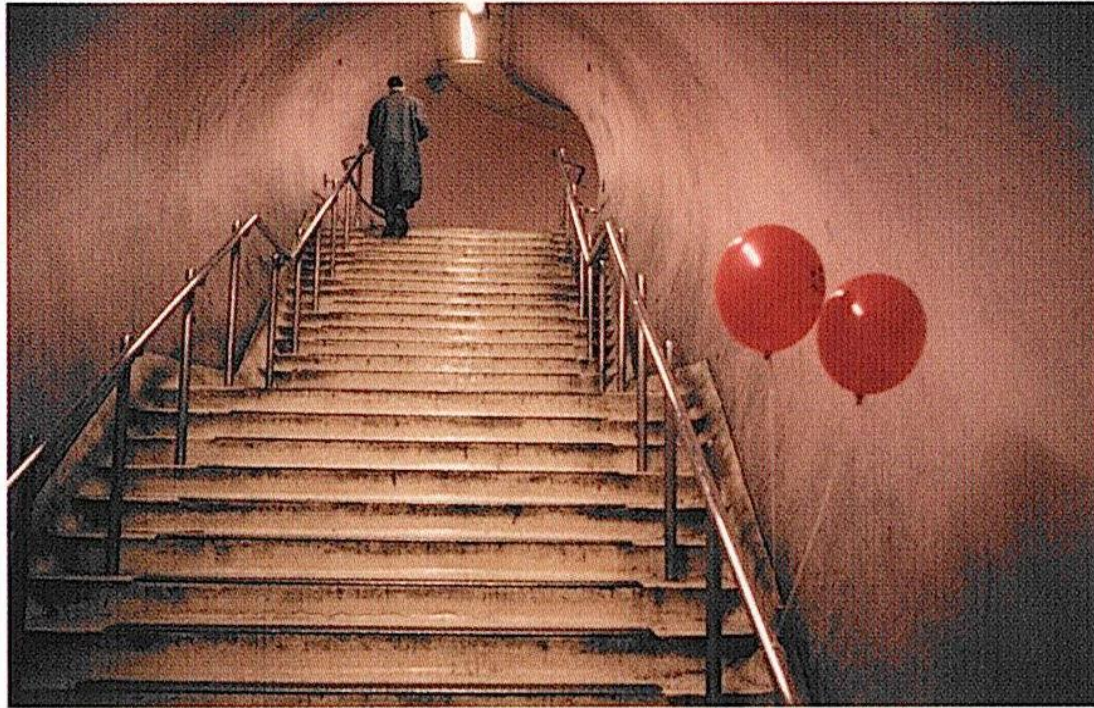
再編整備計画 (方針 4～方針 6)

II 今後のスケジュール

「高校の将来像を考える地域の協議会」の設置について

III 地域懇談会等において寄せられたご意見、ご質問について

求められる資質・能力の変化



たとえば、こんな小論文問題が出る！

800字でこの写真の意味を説明できますか？

「2020年の大学入試問題」
石川一郎 著 講談社現代
新書 2016年2月20日第一
刷発行 より 3

長野県の高校教育が目指すべき方向性

- ① 自ら立てた問いに対し、チームとして協働しながら解を見つけ、新しい価値を主体的に創造していくことができる資質・能力の育成。
- ② 「一度しかない人生を自分はどう生きたいか」という自分の人生を構想する力（キャリアデザイン力）の育成。
- ③ 信州に根ざした確かなアイデンティティと世界に通じる広い視野、資質・能力の育成。

「高校改革 ～夢に挑戦する学び～ 実施方針(案)」 たたき台

新たな学びの推進

- 方針1 すべての高校が新たな学びへ転換
- 方針2 多様な学びの場、学びの仕組を整備充実
- 方針3 新たな学びにふさわしい環境を整備

再編整備計画

- 方針4 少子化の進行に的確に対応
- 方針5 多様な学びの場を全県に適切に配置
- 方針6 優先順位を定め、計画的に整備

新たな学びの推進

方針1

すべての高校が、これからの時代に
必要とされる新たな学びに転換します。

「3つの方針」の策定

「生徒育成方針」

どのような力をつけて卒業させるのか

「育てたい人物像」(学校目標)

「教育課程編成・実施方針」

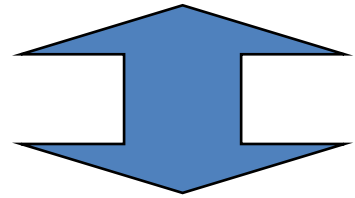
教育活動をどのように展開するのか

「生徒受入れ方針」

どのような生徒の入学を望むのか

「3つの方針」を中心とするつながり

就職先(事業所等) 進学先(大学、短大、専修学校等)



フィードバックシステム

卒業

「生徒育成方針」

教育活動

「教育課程編成・実施方針」

入学

「生徒受入れ方針」

共有と連携

保護者
地域
産業界
教育界

新たな学びの推進

方針2

**夢に挑戦できる多様な学びの場、
学びの仕組を整備充実します。**

多様な学びの場を整備充実

方針2

多様化する生徒の学習
ニーズに応える高校

産業人材を
育成する高校

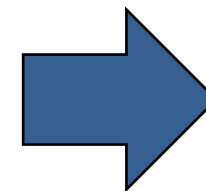
先導的に改革に取り組む
モデル校

多様化する生徒の学習ニーズに応える高校

方針2

総合学科高校

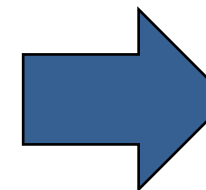
個々の興味・関心を追求しながらキャリア形成を図る



充実・拡大

多部制・単位制高校

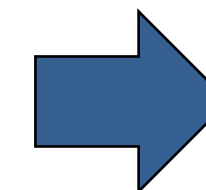
多様な生活歴・学習歴を持つ生徒に対応



充実・拡大

通信制高校

個々のペースで学び、自己の可能性を伸ばす

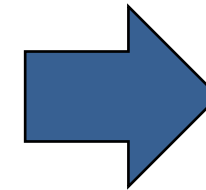


改革

サテライト校の設置

総合技術高校

- 学科横断的な学びを推進
- 社会の変化に柔軟に対応できる産業人材を育成



充実・拡大

モデル校

- 先進的な教育課程の編成・展開
- 新たな学校運営のあり方の研究・実践

成果の検証

支援

県教育委員会

支援チーム
(外部有識者含む)

有効な取組を普及

県下の高校

モデル校の例

方針2

スーパー探究科 設置校

大学での研究等につながる卓越した「探究的な学び」を実践

信州型SGH指定校

学校外の団体・組織等と協働して社会の諸課題の解決に取り組む

国際バカロレア研究校

国際バカロレアの理念を活かした独自の教育プログラムを編成

産業スペシャリスト 育成校

高校卒業後の学びの場と連携した教育システムの構築

少人数学級モデル校

学校の課題や生徒の状況に応じた少人数生活集団の効果を検証

統合新校による 「新しい学校」

ソフト・ハード両面で既存の考えにとらわれない「新しい学校」を創造

多様な学びの仕組を整備充実

方針2



I C T の活用

少人数学習
少人数学級

課題解決型学習 (P B L)

(モデル校)

デュアルシステム

高校間連携・高大連携

特別支援教育

新たな学びの推進

方針3

新たな学びにふさわしい環境を整備
します。

ICT環境の充実



- 電子黒板、タブレット端末等
- ICT支援員
- 統合型校務支援システム

外部人材・専門人材
の活用



- 外部人材(地域、産業界、大学等)
- カリキュラムコーディネーター
- 専門人材
 - ・スクールカウンセラー
 - ・スクールソーシャルワーカー
 - ・部活動外部指導者 等

教員の資質向上



- 「探究的な学び」リーダー教員の養成
- 県内外の先進校への視察
- 教育機関等への派遣研修

学習環境・生活環境
の整備



既存校

老朽化対策

すべての学校

エアコン、洋式トイレ等の整備

統合新校

新たな学習・生活
空間を創造

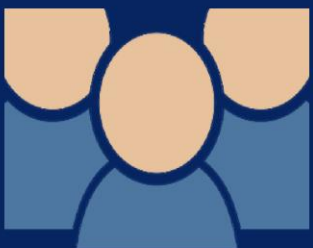
再編整備計画

方針4

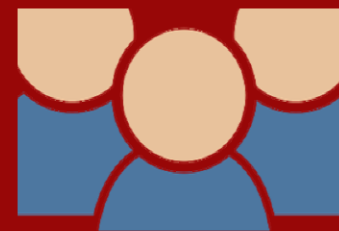
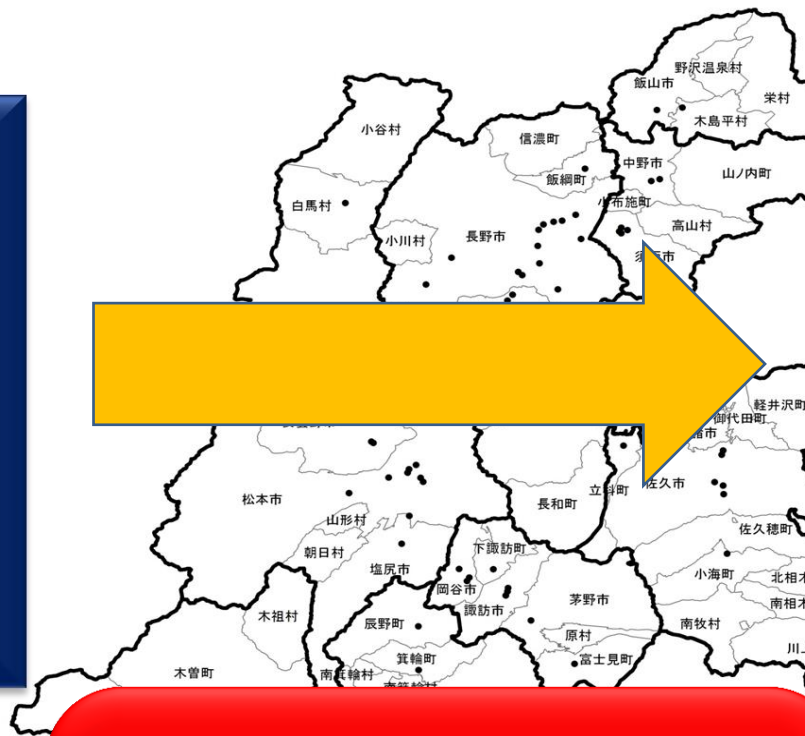
**さらなる少子化の進行に的確に対応
します。**

長野県の中学校卒業生数(予測)

前回説明



2017年3月
20,754名



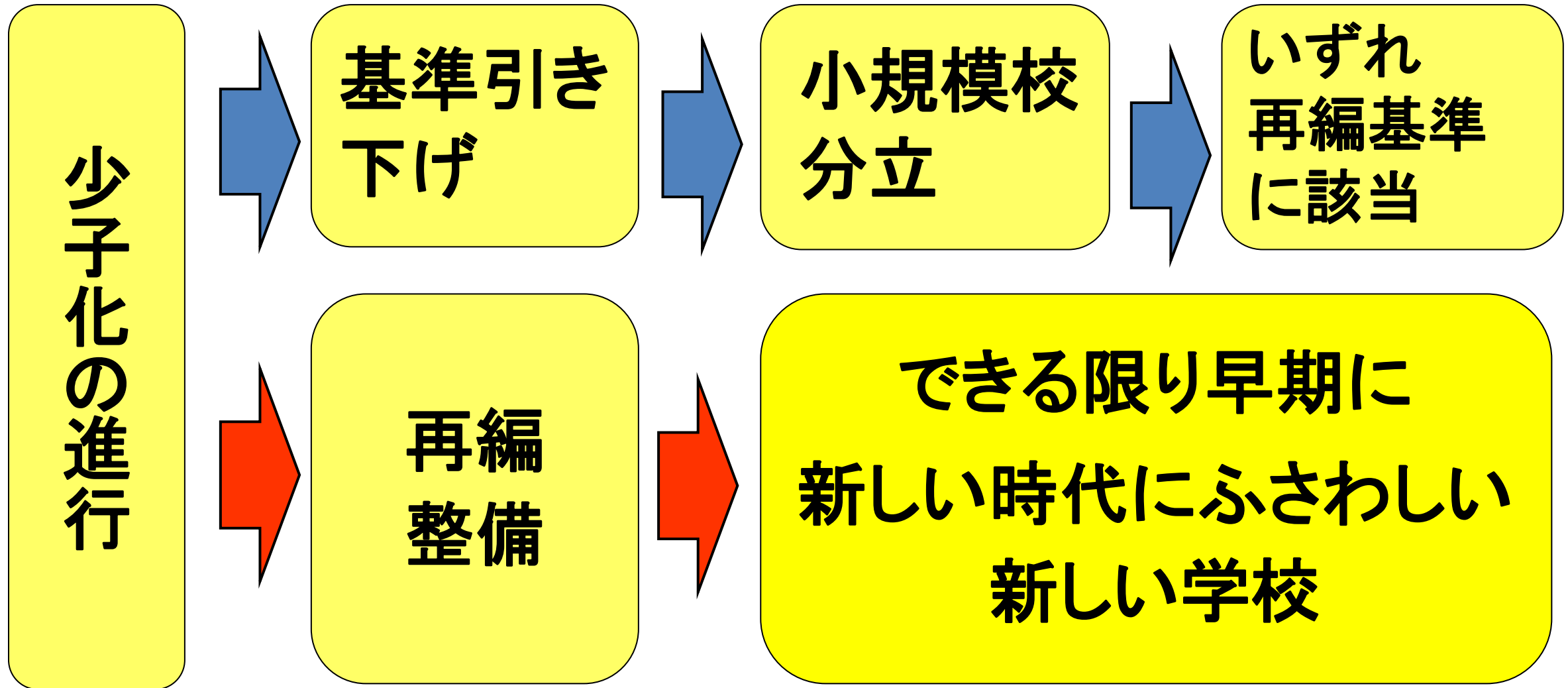
2031年3月
15,449名(予測値)

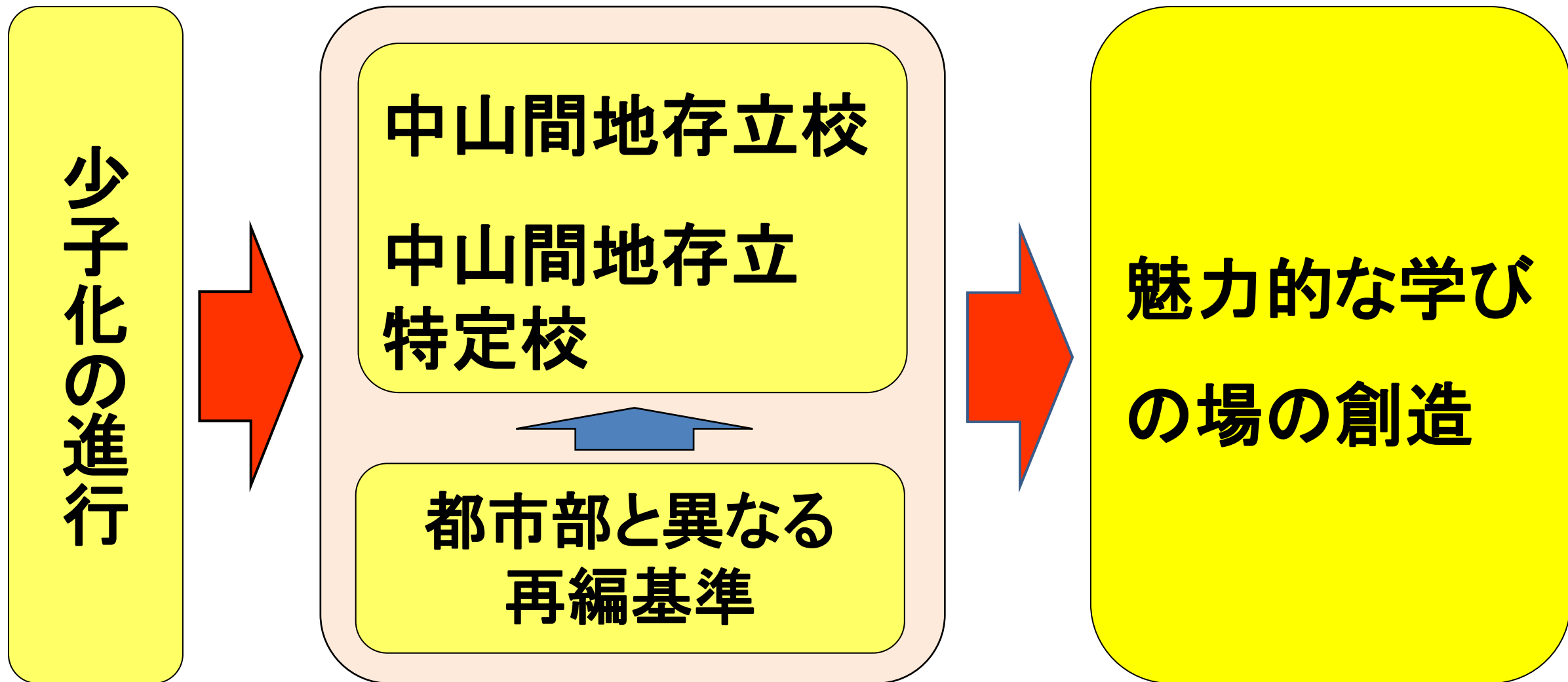
約5,300名減少
<約130学級分>

再編基準について

基本構想

	再編基準
都市部存立 普通校	在籍生徒数 520人以下、2年連続
都市部存立 専門校	在籍生徒数 280人以下、2年連続
中山間地存立校	在籍生徒数120人以下、もしくは、 在籍生徒数160人以下かつ卒業生の半数 以上が入学している 中学校がない状態、 2年連続





再編整備計画

方針5

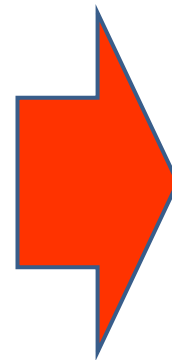
多様な学びの場を全県に適切に
配置します。

再編整備計画

地域全体及び県全体の高校の将来像を総合的に検討

高校配置

- ・地理的な条件や通学の利便性に配慮
- ・地域の子どもたちを地域で育てる観点



実質的な生活・通学圏域である
旧12通学区単位を
基本に検討

校種ごとの配置の考え方

方針5

校種等	配置の考え方
普通高校	旧12通学区単位
専門高校	旧12通学区単位(何らかの専門教育) より広域の通学区単位(農業、工業及び商業の専門教育)
総合学科高校 多部制・単位制高校	4通学区を基本

校種等	配置の考え方
定時制高校	旧12通学区を基本
通信制高校	現在の東北信と中南信への配置を基本 サテライト校の設置を検討
モデル校	それぞれの学校の特性と全県のバランスを考慮

再編整備計画

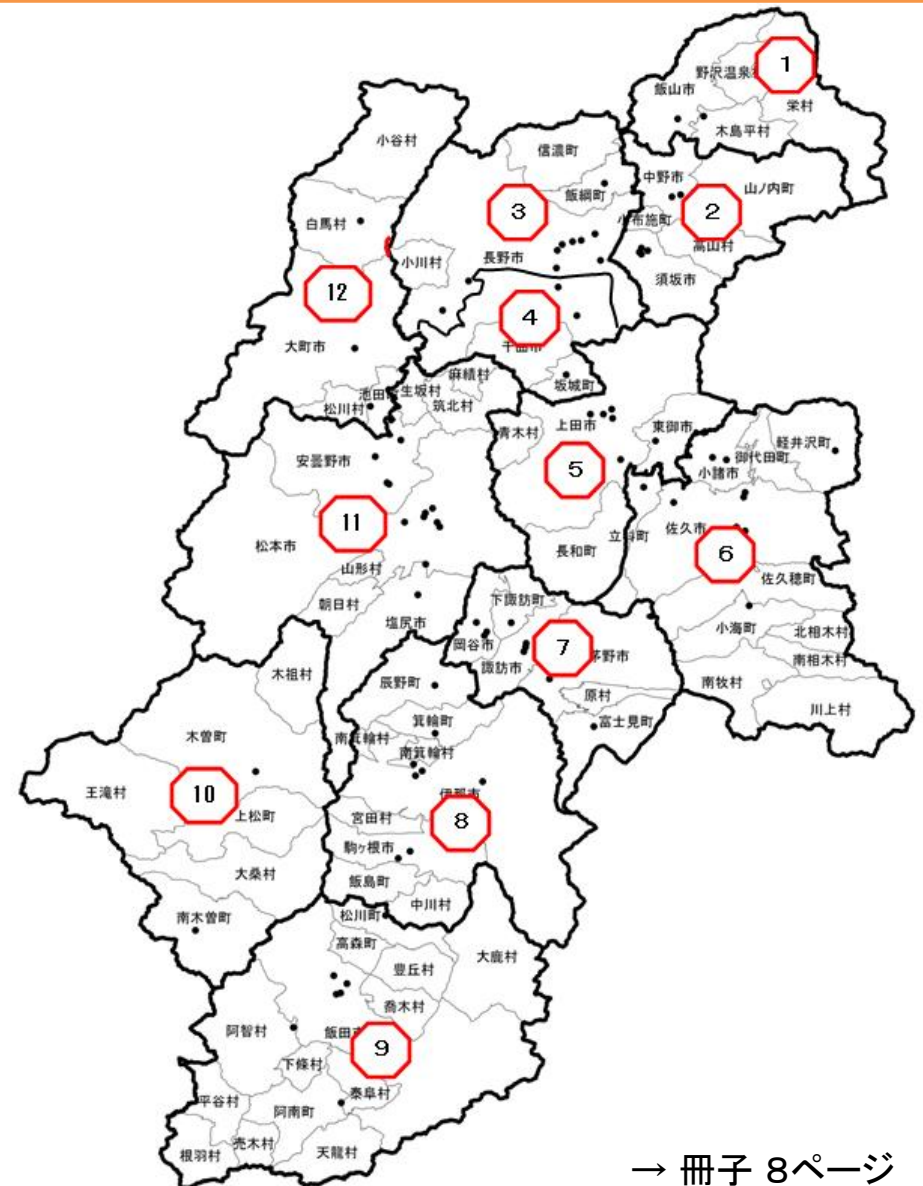
方針6

優先順位を定め、計画的に整備を進めます。

旧12通学区単位に

再編整備計画を策定して

既存校を含め計画的に整備
を進める



「高校改革 ～夢に挑戦する学び～」のスケジュール

想定時期	プロセス
2017年11月	「県立高校『学びの改革 実施方針』策定に向けて」
2018年3月	「高校改革 ～夢に挑戦する学び～ 実施方針(案)」
9月	「 高校改革 ～夢に挑戦する学び～ 実施方針 」
2019年9月	すべての地区で「高校の将来像を考える地域の協議会」を設置完了
2020年3月	「再編整備計画（一次分）」策定
2021年3月	「再編整備計画」確定
2030年3月	長野県の高校教育が変わる 長野県が変わる

「高校の将来像を考える地域の協議会」の設置について

- 設 置 　　すべての旧12通学区に設置
- 設置目的 　旧通学区内の将来を見据えた高校の学びのあり方と具体的な高校の配置について、県教育委員会に対して意見・提案を行う。
- 構 成 員 　　市町村長、市町村教育長（または教育委員長）、産業界から選出された者（以上必須）
- 意見・提案の取り扱い
　　県教育委員会は、協議会の意見・提案を踏まえた上で、全県的視野に立ち、総合教育会議での議論を経て、総合的に判断する。

まとめ

すべての生徒が自らの夢を見つけ、夢に挑戦する学びの実現

すべての高校が
新たな学びへ転換

多様な学びの場、
学びの仕組を整備充実

新たな学びにふさわしい
環境を整備

さらなる少子化の進行に
的確に対応

多様な学びの場を
全県に適切に配置

優先順位を定め、
計画的に整備